

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第2週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和5年 第2週分 1月10日～1月16日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ **6,014**例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

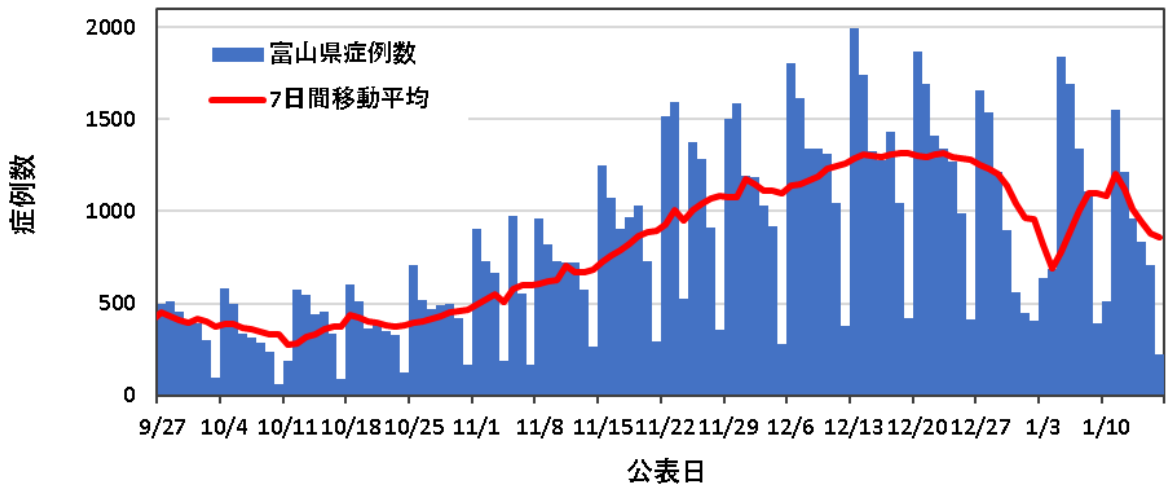
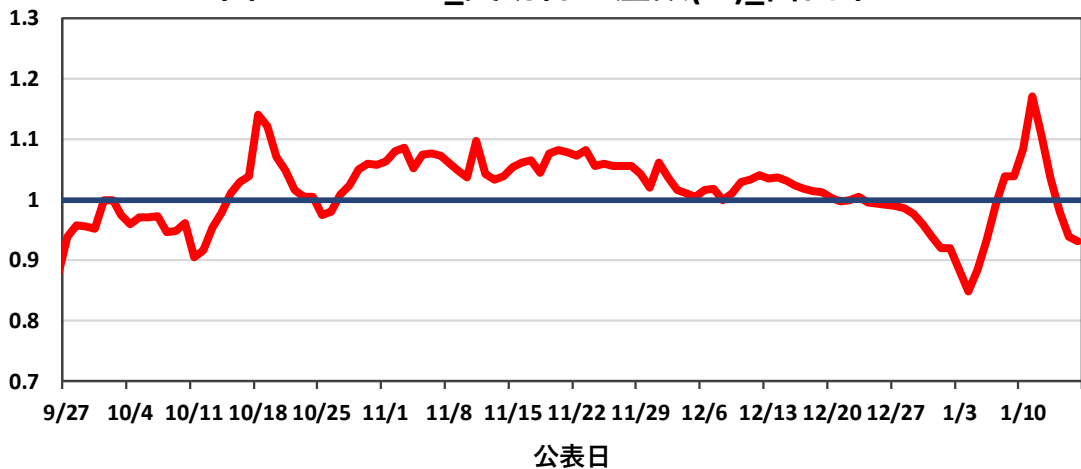


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数})^{\text{平均世代時間} / \text{報告間隔}}$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、2週）

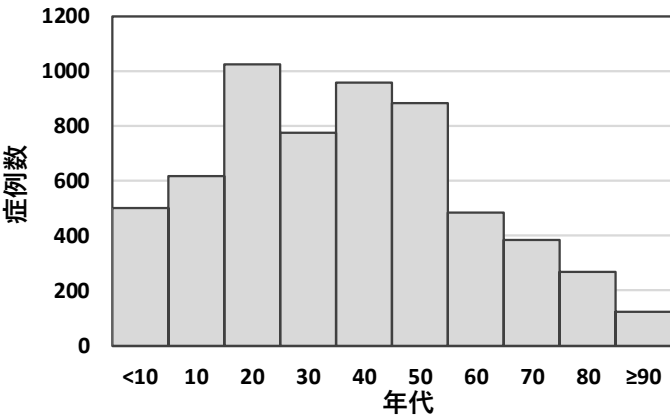


図4. COVID-19年代別割合（富山県、2週）

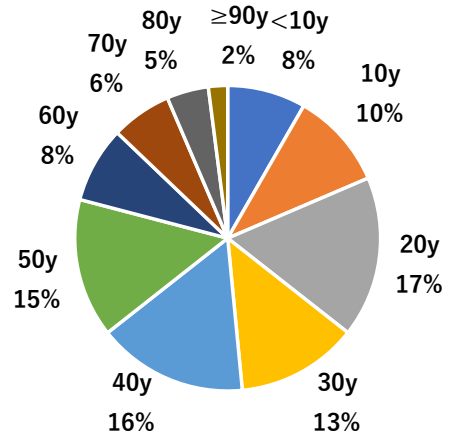


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

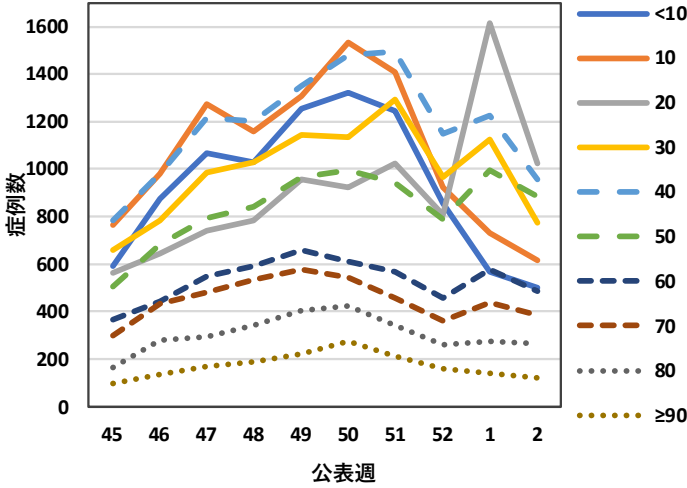
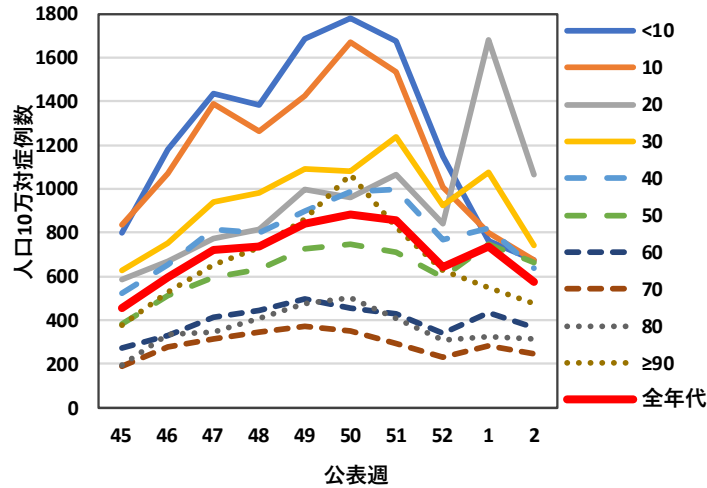


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



1月16日時点での所見と評価

- 第2週の新規報告数は、6,014例。先週（6,727例）より減少した。
- 実効再生産数（図2）は、1/11の1.17から低下傾向で、1/16時点で0.93。
- 第2週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。20歳代が最も多く17%を占め、次いで40歳代、50歳代、30歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の割合は21%で、先週(19%)から増加した。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。先週急増した20歳代（灰色）は今週減少し、その他もすべての年代において前週より減少した。学校では新学期が始まった後も、10歳代、10歳未満ともに報告数の減少が続いた。